

平成 29 年度 第 4 回 北海道代協 CSR 広報委員会 議事録

- 日 時：平成 30 年 2 月 9 日（金）14：30～17：00
- 場 所：嶋田委員長（札幌）・池田副委員長（函館）・菅原副委員長（釧路）
山間（室蘭）・若林（苫小牧）・高橋（千歳）・細川（帯広）
- 欠席者：津崎（小樽）・（旭川）
- 議 長：嶋田（札幌）
- 書 記：細川（帯広）

1. 報告事項

1. 日本代協 CSR 委員会報告（1/26 日開催）

・ぼうさい探検隊の総括

応募総数 133 団体の申込があり、計 416 作品の提出で過去最高であった。残念ながら代協経由での北海道内の入賞はなかった。

・グリーン基金の寄付先の決定

30 団体の応募があり 5 団体の新規応募があった。応募資格と選考基準の適合性を確認し、新規 1 団体についてはスポーツ活動が主でグラウンド整備の為の除草作業程度の活動の為、資格不適とした。更に、一定の収入金額を確保し本寄付の影響が少ない団体については寄付対象外とした。これにより毎年寄付先となっていた釧路支部の霧多布湿原ナショナルトラストについては見送りとなってしまった。財源確保が困難でありながら自然保護活動に取り組んでいる団体への採択の可能性が高い印象との報告があった。

・各ブロックからの活動報告

ユニバーサルマナー検定のブロック開催が検討している。

会員の全募集人が AED を使用できるよう講習会を予定している。

・次年度の CSR 活動のすすめ方

事業の整理やあり方を論議した。ティッシュ配りを否定するのではなく、配布方法を工夫する等の変化が必要では。やらされ感が蓄積しているとの意見があった。

・被災（会員）代理店支援策の具体論議

各代協同士で相互支援する際、常時ストックしておくべき物資に関する提案を行った。例えばブルーシートはどうかとの意見もあったが、物資品目については今後検討するにとどまった。

・その他

損保協会より「反射材付き高齢者の交通事故防止チラシ」の提供があり、各支部に会員数割で配った。（北海道は 1400 部）

2. 日本代協広報委員会報告（1/18 日開催）

・PR 企画の展開方法

元日より YouTube にて動画配信がされている。各イベント等で活用してほしい。

- ・みなさまの保険情報の推進
発行部数が減ると値上げせざるを得ない状況であり、改めて協力の要請があった。
- ・日本代協ホームページのリニューアル
道代協に関しても現代風（スマホ対応など）にリニューアルが必要と捉え次々年度へ向け予算化したい。

3. 各支部活動報告

札幌ー地震保険普及活動ティッシュ配りをした。
室蘭ータオルボランティアに会員から持ち寄ったカレンダーも寄贈する予定。
苫小牧ーチャリティーボウリングを開催したが寄付先は未定。
千歳ータオルボランティアは 300 枚ほど集まった。
函館ー活動は新聞社を利用し記事にしている。タオルボランティアは会員に週一で進捗状況を流し張り合わせている。1 会員最低 10 本はお願いしている。
釧路ー道新に見開き 1 面広告を掲載。タオルボランティアは函館方式にならない目標 300 枚を超えた。
帯広ー地震保険普及のため地域雑誌しゅんに広告掲載した。ティッシュについては市民セミナーの際に配布。タオルボランティアは今後寄贈先を公募する。

2. 議案審議

1. 春の無保険車追放キャンペーン

やり方について変化が必要ではないか。例えば車検対象外のタイヤショベルはどうか。各自治体の建設業協会と連携取れないかとの意見があった。更に、そもそも自賠責対象外の農耕作業車に注意喚起は出来ないかとも。

2. 「反射材付高齢者の交通事故防止チラシ」の活用について

各支部に会員数割で配布した。

3. 30 年度全道向け広報企画の可否決定

今年度の裏表紙は酷評だった為しっかり考えていきたい。やるやらないよりも HO の裏表紙を 15 万円の費用で活用できているのでやめるのは勿体ない。
JCM・DRP・タイムズを巻き込めないか。

ホームページリニューアルが必要。次々年度の予算確保へ向け複数業者にも見積もり依頼をすることとした。

4. 次年度委員長の推薦

池田副委員長にお願いしたいが、理事数の関係上、函館支部次第であるとのこと。

次回開催 平成 30 年 5 月 11 日（金）